

一般質問

一般質問は、質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

地域FM放送ヒッツFMの
難聴地域の解消を

新政たかやま
西本 泰輝



問 市が会社株式を多く保有し、防災情報等各種市政情報や交通情報、観光情報等を放送している地域FM放送のヒッツFMは、屋外や車で聴けない地域があり、停電時には防災ラジオも聴けない地域があるが、一日も早く難聴地域を解消し情報格差を改善できないか。

答 主に久々野や清見、朝日の一部等で聞こえが悪い。ヒッツFMを放送する(株)飛騨高山テレビ・エフエムは市も出資する第三セクターで公共性も高いことから、整備後15年が経過し老朽化が進む防災行政無線の更新時にはラジオの電波についても検討し、難聴地域が少なくなる最も有効な手段を考えていく。



畜産農家への支援につ
いて

新政たかやま
渡辺 甚一



問 飛騨牛は全国的に有名で、平成14年の全国和牛能力共進会岐阜県大会では最高位の名誉賞に輝いた。しかし、飼育頭数は少なく、繁殖農家を支援して繁殖頭数の増大を図ってきたが、現在、繁殖・肥育頭数の増大は図れているのか。現状と課題について伺う。

答 繁殖農家は減少しているが、飼育頭数は年々増加している。しかし、肥育農家の求める子牛頭数に追いついていないため、繁殖牛舎の支援や優良雌牛導入支援に取り組んでいる。また、飼料購入に対する支援や自給飼料生産を増やす取組を支援している。



全国和牛能力共進会鹿児島大会の岐阜県代表団

市内企業の採用活動の
活性化について

みんなで未来をつくる会
丸山 純平



問 企業間・自治体間の労働力の奪い合いが年々激化する中、積極的に市内企業が市外・県外の若者を採用していくことは重要である。そこで、市内企業の採用活動の強化に広く使用できる補助金等の創設などは検討されているのか。

答 市では現在、高山市内の事業所に就労した若者に対して10万円の支援金の支給や、アパートを借りる際の初期費用の補助などをおこなっている。一方で、全国から人材を募る活動が活発化していくことも予想しているため、来年度には、求人情報の発信や企業紹介動画の作成、企業説明会への出展料などを助成する新たな制度の創設を検討していく。



寄附金の有効利用と
GCFの活用について

みんなで未来をつくる会
益田 大輔



問 ふるさと納税の寄附額の増加が見込まれる中、増収分をいかにまちづくりに還元するかが重要である。ふるさと納税のフィールドを行政が提供し、有権者の先進的な取組や社会課題解決など、市民提案のプロジェクトに対して寄附を募るGCF（ガバメントクラウドファンディング）が注目されている。タウンミーティングなどで集まった市民の意見をプロジェクト化しGCFで資金調達・財源確保することで、「不満が願いに変わるまち」が実現するのではないか。

答 他の自治体の取組は承知している。鋭意研究したい。

